

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 12日は、前線が日本の南から沖縄付近にのびる。高気圧が東シナを移動する。
- 13日は、日本の東の高気圧が本州南岸付近に張り出す。
- 14日から15日は、前線が日本の南から沖縄付近にのび、前線上を低気圧が進む。
- 16日は、低気圧が日本の東に進み、前線が沖縄・奄美付近にのびる。

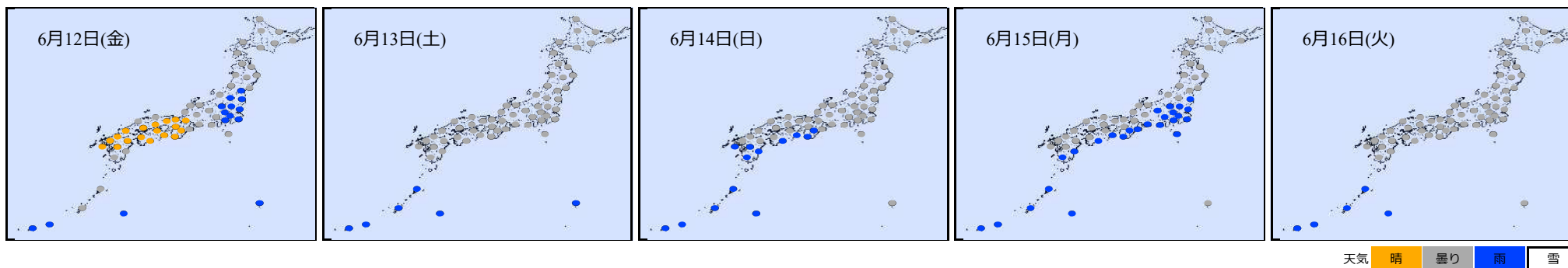
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

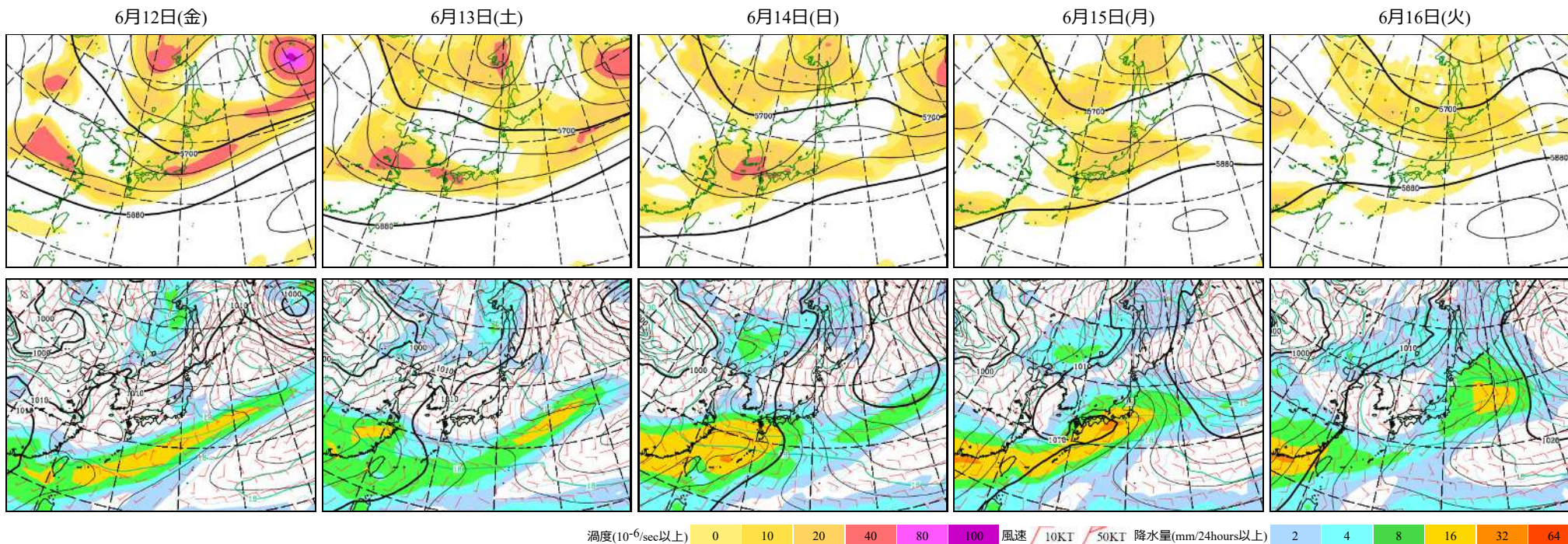
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

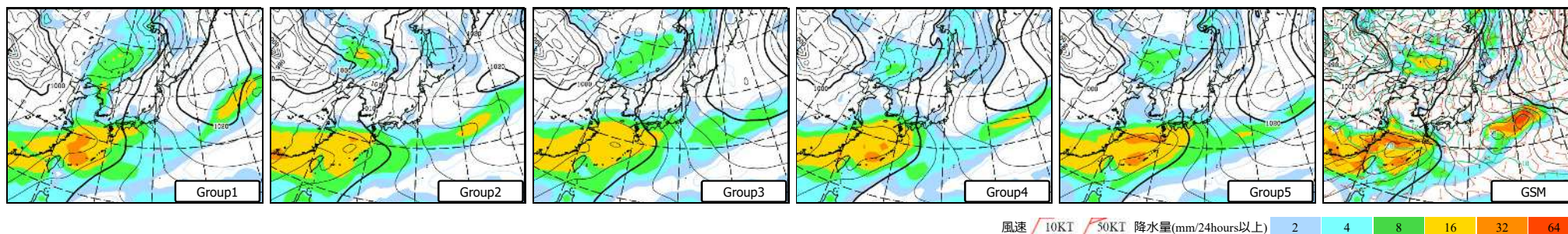


- 北日本は、曇りの日が多い。
- 東日本は、曇りや雨の日が多い。
- 西日本は、12日は晴れる所が多い。その後は曇りの日が多く、14日と15日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雨の日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆6月14日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、北日本付近へ進むトラフが期間の終わりで早くなった。地上は、14日頃に本州南岸付近を進む前線や低気圧が遅くなり、降水ガイダンスも西日本で高くなった所がある。
- 14~15日は、各モデルともに東シナ海から日本の南を低気圧が進む予想となり、日本モデルが最も遅く、最も北寄りを予測している。16日は日本モデルは北日本の沖を低気圧が北上する。海外モデルは東進するものもある。ENSも同様のメンバーが多いが、低気圧が早く進むメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。